

**被写体を印象づける柔らかな映像描写を実現
PL マウントのシネマカメラ用単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」を投入**

キヤノンは、PL マウントを採用したデジタルシネマカメラ用単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」を新たに展開し、7 機種を 2019 年 6 月上旬より順次発売します。



Sumire Prime

PL マウント単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」7 機種

「Sumire Prime」ロゴ

「Sumire Prime」は、被写体を印象づける柔らかな映像描写を実現したシネマカメラ用単焦点レンズシリーズです。EFマウントの単焦点レンズシリーズに加え、映像制作業界で広く普及しているPLマウントを採用した本シリーズを投入することで、多彩な映像表現を求める映像制作現場のニーズに応えます。

■ PL マウントの単焦点レンズシリーズを投入

キヤノンは、2011年11月にCINEMA EOS SYSTEMを発表して以来、シネマレンズのラインアップを拡充し、幅広いユーザーから高い評価を得てきました。このたび、映像制作業界で広く普及しているPLマウントを採用した単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」を新たに展開します。本シリーズを投入することで、ユーザーにさらに多くの選択肢を提供し、映像表現領域の拡大に貢献します。

■ 被写体を印象づける柔らかな映像描写を実現

「Sumire Prime」新製品7機種は、大口径非球面レンズやUDレンズ※、UDレンズの性能をさらに向上させたスーパーUDレンズを採用したキヤノン独自の光学設計により、芯がありかつ柔らかな映像描写を実現しています。高い解像感を特長とするEFマウントの単焦点レンズシリーズに対し、PLマウントの単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」は、背景に広がる柔らかなボケが被写体を優しく浮かび上がらせることによる、美しく印象的な映像描写が特長です。また、両シリーズに共通した暖色系のトーンにより、人物の表情を柔らかく、自然に描く映像表現が可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
CN-E14mm T3.1 FP X	オープン価格	2019年9月下旬
CN-E20mm T1.5 FP X		2020年1月下旬
CN-E24mm T1.5 FP X		2019年6月上旬
CN-E35mm T1.5 FP X		2019年6月上旬
CN-E50mm T1.3 FP X		2019年6月上旬
CN-E85mm T1.3 FP X		2019年8月下旬
CN-E135mm T2.2 FP X		2019年12月下旬

※ Ultra Low Dispersion Lens=特殊低分散レンズ。

<主な特長>

1. PL マウントの単焦点レンズシリーズを投入

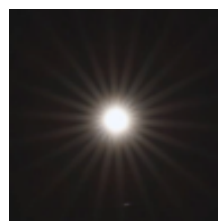
- ・2011年11月に CINEMA EOS SYSTEM のトップエンドズームレンズシリーズ、単焦点レンズシリーズを発表して以来、CINE-SERVO レンズや COMPACT-SERVO レンズなどの新シリーズを加えながらラインアップを拡充し、幅広いユーザーから高い評価を獲得。今回、映像制作業界で広く普及している PL マウントを採用した新しい単焦点レンズシリーズに「Sumire Prime」と名付けて投入し、シネマレンズのラインアップを合計 28 機種に拡充。ユーザーにさらに多くの選択肢を提供し、映像表現領域の拡大に貢献。
- ・「EOS C700 FF PL」(2018年7月発売) など 35mm フルサイズセンサーを搭載したカメラにも対応。

	EF マウント	PL マウント
トップエンドズームレンズ	CN-E14.5-60mm T2.6 L S	CN-E14.5-60mm T2.6 L SP
	CN-E30-300mm T2.95-3.7 L S	CN-E30-300mm T2.95-3.7 L SP
コンパクトズームレンズ	CN-E15.5-47mm T2.8 L S	CN-E15.5-47mm T2.8 L SP
	CN-E30-105mm T2.8 L S	CN-E30-105mm T2.8 L SP
単焦点レンズ	CN-E14mm T3.1 L F	CN-E14mm T3.1 FP X
	CN-E20mm T1.5 L F	CN-E20mm T1.5 FP X
	CN-E24mm T1.5 L F	CN-E24mm T1.5 FP X
	CN-E35mm T1.5 L F	CN-E35mm T1.5 FP X
	CN-E50mm T1.3 L F	CN-E50mm T1.3 FP X
	CN-E85mm T1.3 L F	CN-E85mm T1.3 FP X
	CN-E135mm T2.2 L F	CN-E135mm T2.2 FP X
CINE-SERVO レンズ	CN20×50 IAS H/E1	CN20×50 IAS H/P1
	CN7×17 KAS S/E1	CN7×17 KAS S/P1
COMPACT-SERVO レンズ	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S	
	CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	

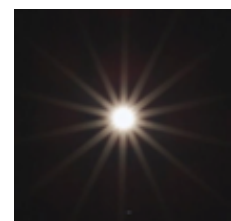
シネマレンズのラインアップ

2. 被写体を印象づける柔らかな映像描写を実現

- ・「Sumire Prime」新製品 7 機種は、大口径非球面レンズや UD レンズ、UD レンズの性能をさらに向上させたスーパーUD レンズを採用したキヤノン独自の光学設計により、芯がありかつ柔らかな映像描写を実現。高い解像感を特長とする EF マウントの単焦点レンズシリーズに対し、PL マウントの単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」は、背景に広がる柔らかなボケが被写体を優しく浮かび上がらせることによる美しく印象的な映像描写が特長。
- ・EF/PL の両シリーズに共通した暖色系のトーンにより、人物の表情を柔らかく、自然に描く映像表現が可能。
- ・映像制作に求められる明るい T ナンバーを実現し、柔らかく大きなボケ表現や、低照度環境での明るい画の撮影が可能。
- ・11 枚絞り羽根の採用により、開口形状が円形に近い状態を保てるため、柔らかく自然なボケ味を表現可能。また、奇数枚数の絞り羽根は光芒の数が 2 倍になる現象を利用し、光が柔らかく拡散した映像表現が可能。



11 枚絞り羽根の光芒



14 枚絞り羽根の光芒

3. 快適な撮影を実現する優れた操作性

- ・回転角（操作角度）約 300° のフォーカスリングにより、高精度なピント合わせが可能。
- ・CINEMA EOS SYSTEM の単焦点レンズの全機種間で、リング部のギア位置や前玉径などを統一。これにより、マウントボックスや外付けのフォーカス調整用アクセサリなど、各種アクセサリ（他社製を含む）の取り付け位置を機種ごとに調整する必要なく、スムーズなレンズ交換を実現。
- ・フォーカスの指標をレンズの左右両面に表示することにより、距離目盛を左右両側から確認可能。また、夜間撮影や暗がりでの撮影時に視認性を向上させるため蓄光指標を採用。

<レンズマウント交換サービスについて>

「Sumire Prime」7機種については、PL マウントから EF マウント、EF マウントから PL マウントへの交換サービスを実施予定です。購入した販売店にお持ちいただき、弊社にて交換対応を実施します。サービス開始時期やお預かり期間、費用などの詳細は、CINEMA EOS SYSTEM ホームページ内のサポート情報にてお知らせする予定です。

CINEMA EOS SYSTEM ホームページ：canon.jp/cinema-eos

<ご参考>

2019年4月8日（月）から11日（木）まで米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「NAB Show 2019」のキヤノンブースにおいて、「Sumire Prime」新製品※を先行展示します。

※ “CN-E14mm T3.1 FP X／CN-E24mm T1.5 FP X／CN-E35mm T1.5 FP X／CN-E50mm T1.3 FP X／CN-E85mm T1.3 FP X” の5機種。

<シネマレンズの市場動向>

映画をはじめとする映像制作の現場では、浅い被写界深度による豊かな映像描写が魅力の大判センサーを搭載したカメラが普及しており、これらのカメラに対応する高い光学性能を持つレンズへのニーズがこれまで以上に高まっています。キヤノンは、EF マウントの単焦点レンズシリーズに加え、映像制作業界で広く普及している PL マウントを採用した単焦点レンズシリーズを新たに展開し、シネマレンズのラインアップを拡充することで、高画質で多彩な映像表現を求める映像制作現場の幅広いニーズに応えていきます。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

各製品の仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。